

**令和5年度
全国学力・学習状況調査
学校の調査結果**



**令和5年12月
海老名市立大谷小学校**

令和5年度

全国学力・学習状況調査について

調査の目的

- (1)義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2)学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3)そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

調査の対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年 原則として全児童生徒

調査内容

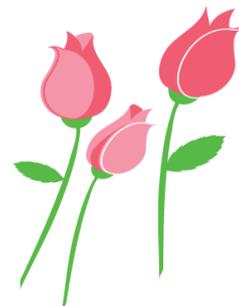
- (1)教科に関する調査【国語、算数・数学、英語(中学校3学年のみ)】
出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。
 - ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 等
 - ②知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力 等調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、記述式の問題を一定割合で導入する。
- (2)生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

調査実施日

令和5年4月18日(火)

※児童生徒質問紙調査(一部)について、児童生徒が活用するICT端末等を用いたオンライン方式により実施



小学校 国語

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・情報と情報との関係を捉えたり、グラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫したりすることができるかどうかをみる。
- ・目的に応じて必要な情報を見付けたり、情報を関係付けて整理したりして、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。
- ・話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的できている点

- 「話すこと・聞くこと」の領域において、必要なことを質問したり、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉えたりすることができています。
- 「読むこと」の領域において目的を意識して中心となる語や文を見付けて要約することができています。

◆課題のある点

- 「書くこと」の領域に課題がある。資料やグラフを読み取ることはできていますが、それらを用いて、自分の考えが伝わるように書き表すことに対し困難を感じる児童が多かったです。「書くこと」そのものに抵抗感をもっていることも考えられます。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 文章の構成について丁寧に指導し、書き方をみにつけます。
- 国語だけではなく他教科等においても自分の考えを文章で表現していく機会を増やし、書く経験を積ませていきます。

小学校 算数

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・日常生活の場面の数量の関係に着目し、伴って変わる二つの数量の関係について考察できるかどうかをみる。
- ・基本的な図形の内容や直線の位置関係について理解し、図形を構成する要素などに着目して図形の性質や図形の計量について考察できるかどうかをみる。
- ・数量の関係に着目して問題場面を解釈し数学的に表現・処理したり、計算に関して成り立つ性質を基に計算の仕方を考えたりすることができるかどうかをみる。
- ・日常生活の問題を解決するために、目的に応じて、表やグラフからデータの特徴や傾向を捉えることができるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的にできている点

- 伴って変わる二つの数量の関係について、表から変化の特徴を読み取り、表の中の知りたい数を求めることができている。
- 示された日常生活の場面を解釈し、小数の加法や乗法を用いて解決することができている。

◆課題のある点

- 基本的な図形の内容の理解に課題があります。
- 示された棒グラフと、複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見出した違いを言葉と数を用いて記述することに課題がありました。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 図形の内容の基本的な構成要素について系統的な学習の視点も重視し、定着するよう繰り返し学習に取り組んでいきます。
- 表やグラフ等の資料について、データを読み取るだけでなく、解釈し自分の考えを言葉でわかりやすく表現する課題に取り組んでいきます。

児童質問紙

学習について

◆本校のよかったところ

○国語の勉強は好きですかという質問に対して「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童が全国平均より多く、それに伴い、授業で自分の考えがうまく伝わるように資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか等の言語活動に関する質問に対しての肯定的な回答が全国平均より比較的高いです。

◆本校の課題と思われるところ

○学級活動の学級会を通じて、問題解決をしたり自分の生活に生かしたりすることが少ない傾向にあります。

生活について

◆本校のよかったところ

- ほとんどの児童が「人の役にたつ人間になりたいと思う」と回答しています。
- 「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある」と回答した児童が全国平均と比べて高いです。
- 「将来の夢や目標を持っている」と回答した児童が全国平均と比べて高いです。
- 「人が困っているときは進んで助けている」と回答した児童が全国平均と比べて高いです。
- 「自分にはよいところがあると思う」と回答した児童が全国平均と比べて高いです。

◆本校の課題と思われるところ

- 「毎日、同じくらいの時刻に起きている」と回答した児童が全国平均と比べて低いです。
- 「友達関係に満足している」と回答した児童が全国平均と比べてやや低いです。
- 「今住んでいる地域の行事に参加している」児童が全国平均と比べてやや低いです。

今後の具体的な取組について

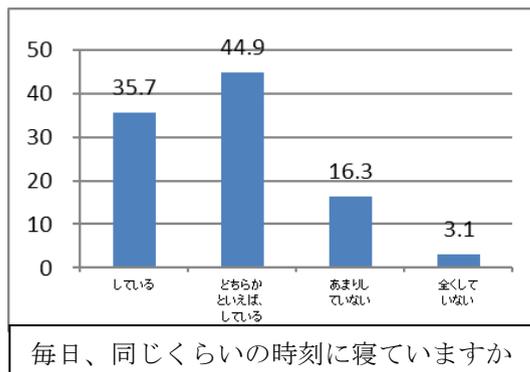
- 引き続き言語活動のよさ、楽しさを学習活動を通じて伝えていきます。
- 学級会を計画的・効果的に行うことで、話し合いをしながらクラスの課題を解決したり、その経験を生活に生かしたりする機会が増えるよう努めます。
- 多くの児童が人のためになりたいと考え、人が困っていると進んで助けようとしています。また、自己肯定感も比較的高く将来の希望をもっている児童も多いです。今後も友達をはじめ様々な人たちとの関わりの中で成長していけるよう努めます。
- 地域との学校の関わりについては、総合的な学習の時間などで地域の方々に支えられて生活していることを知り、感謝の気持ちをもち、進んで関わっていける機会が増えるよう努めます。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフは本校の児童質問紙の結果です。

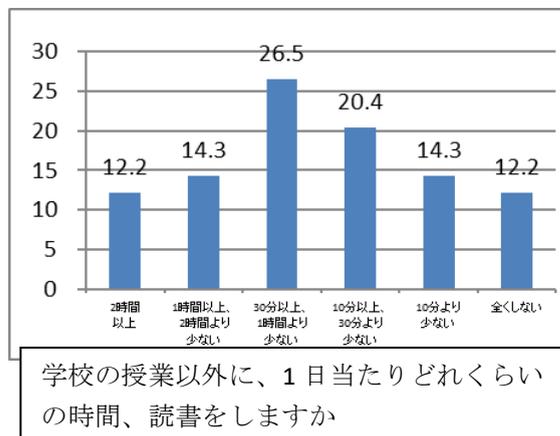
1 規則正しい生活を心掛けましょう。

「毎日、同じぐらいの時刻に寝ている」と回答した児童の数が低下している傾向にあります。学習と生活は相互に関係しあっています。生活を整えることを心掛けてください。



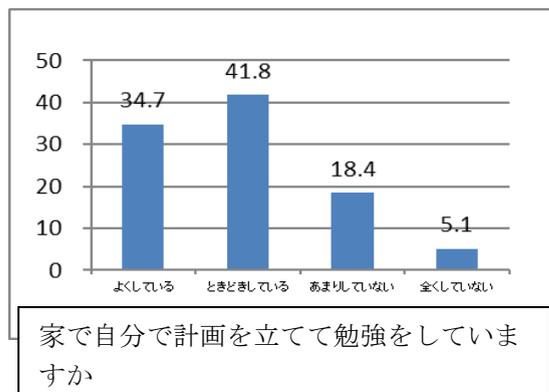
2 本をよく読みましょう。

読書は語彙を増やし、自分の考えをもったり、広げたりする効果があります。また読書をすることにより、想像力を広げることができます。本を読む習慣をつけましょう。



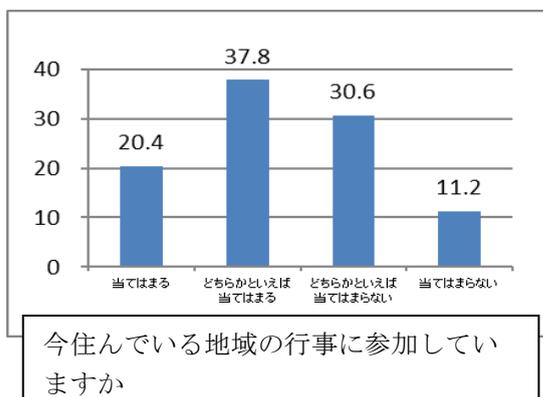
3 自分で計画的に学習に取り組みましょう。

宿題だけでなく、力をつけていくために何をどれだけ学習したらよいかについて、自分で計画し取り組むようにしましょう。



4 地域の行事に積極的に参加しましょう。

地域の祭りやイベントが盛んに行われるようになってきました。積極的に参加し地域の人々や、地域文化に触れるようにしましょう。



文部科学省における学習指導の改善・充実に向けての主な取組

1. 学習指導要領の着実な実施

- 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善
- 指導改善に資する情報提供等(国立教育政策研究所)

2. 英語の学習指導の改善・充実

- 海外の学校等との国際交流や協働的な学習の推進
- 科学技術人材の育成

3. GIGA スクール構想の更なる取組の推進

- 国費による学校 DX 戦略アドバイザーの派遣等による支援
- 切れ目のない研修コンテンツの提供

4. 児童生徒の豊かな心をはぐくむ取組の推進

- 道徳教育や特別活動、体験活動、生徒指導など学校教育活動全体を通じて児童生徒の豊かな心をはぐくむ取組を推進

5. 学校における指導・運営体制の充実

- 小学校における35人学級の計画的整備や高学年教科担任制の推進等のための教職員定数の改善
- 教員業務支援員や学習指導員等の支援スタッフの充実

6. 調査結果を活用した追加分析等

- 令和5年度調査の結果を活用した追加分析
- 個票データ等の貸与

海老名市における学習指導の改善・充実に向けての主な取組



多様性を受け止め、多様性を生かし、えびなっ子ひとりひとりの学びを保障する教育をめざします



3つの重点

- ①授業改善の実践 ②教育支援体制の充実 ③特色ある学校づくりの推進

①授業改善の実践

- 「主体的・対話的で深い学び」を追求し、授業改善を継続します
- 今日的な教育課題であるプログラミング教育、外国語教育、キャリア教育などを実践します
- 学校ICTを有効に活用します
- 市教育委員会として、実践のために必要な学校へのサポートを行います(予算確保や環境整備、教職員向けの研修など)

【市の結果についての問い合わせ先】
 電話 046-235-4919
 海老名市教育委員会教育支援課 指導係